

各 位

平成 17年10月 31日

会 社 名 杏林製薬株式会社
代 表 者 代表取締役社長 荻原郁夫
コード番号 4560(東証第一部)
本社所在地 東京都千代田区神田駿河台2-5
問い合わせ先 執行役員 経理部長 伊藤 洋
TEL (03) 3293 - 3420

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 17年 5月 12日の決算発表時に公表した業績予想を下記のとおり修正します。

記

1. 平成18年3月期 連結中間業績予想数値の修正(平成 17年 4月 1日 ~ 平成 17年 9月 30日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	中間(当期)純利益
前回発表予想(A) (平成 17年 5月12日 発表)	32,100	2,400	1,100
今回修正予想(B)	33,500	2,700	1,400
増減額(B-A)	1,400	300	300
増減率	4.4	12.5	27.3
前期(平成16年9月中間期)実績	31,056	1,974	1,307

2. 平成18年3月期 単体中間業績予想数値の修正(平成 17年 4月 1日 ~ 平成 17年 9月 30日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	中間(当期)純利益
前回発表予想(A) (平成 17年 5月12日 発表)	30,200	2,200	1,000
今回修正予想(B)	31,600	2,300	1,100
増減額(B-A)	1,400	100	100
増減率	4.6	4.5	10.0
前期(平成16年9月中間期)実績	30,423	1,790	1,114

3. 理 由

当中間期の売上高につきましては、国内新薬医療用医薬品が主要製品であるキプレス等の堅調な推移により伸張したこと及び海外売上高が当初予想を上回る見込みとなり、当中間期売上高予想(連結)は335億円となる見込みです。

この結果、収益面では研究開発費が当初予想を上回るものの、持分法適用会社の利益増加もあり当中間期経常利益(連結)は27億円となる見込みです。加えて、当初織り込んでいた固定資産除却損の期ズレに伴い当中間期純利益(連結)は14億円と当初予想を上回る見込みです。

4. その他

平成18年3月期通期実績の連結及び個別の業績予想につきましては、現在見直し中であり、当中間期決算発表時(11月8日予定)に開示させていただきます。

備 考

本資料に含まれる業績予想及び将来の予測は、現時点で入手される情報に基づくものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。したがって、実際の業績は、様々な要因によりこれらの予想と異なることがありますことをご承知おき下さい。